

# 6年総合「Spark!かがやけ未来へ」単元構造表

<4月当初の子どもの姿>  
自分に自信がなく、自己肯定感・有用感が低い。

<そのために生じていた問題>  
自分から積極的に行動できない。周りの反応を気にする。自分の思いや考えに自信がもてない。

I 見つめる・気づく (15時間, 4月~6月)	
<I前の子どもの姿> 自己肯定感や有用感が低く、自分には強みはないと感じている。互いを尊重し合えない。	
<p>&lt;このような活動を通して&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目指す自分の姿を「なりたい自分」として言葉に表す。(自分の字)</li> <li>② 「1年生お世話プロジェクト」を構想し、実践する。</li> <li>③ 1年生お世話プロジェクトを振り返り、自分の字を具現化した行動や発言を整理・分析する。</li> <li>④ 自分の強みを自覚し、なかよし班活動でそれをいかした行動や発言を考える。</li> </ol>	<p>【活動のフィールド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生お世話プロジェクトでの問題</li> <li>・なかよし班活動での問題</li> </ul> <p>【かわる対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生</li> <li>・なかよし班のメンバー</li> <li>・ラポールのある友達(クラスの友達)</li> </ul>
<目指す子どもの姿> 目指す自分の姿を思い描き、自分の強みに1つは気付いた子ども <Iの終末において生じる子どものつぶやき・発言> 「自分に強みができた。」「いろんな場面で使ってみたい。」	

評価規準		
学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者・社会とのかかわりに関すること
①問題状況の中から課題を発見し、設定する。【課題設定】	①自らの行為について意思決定する。【意思決定】	①異なる意見や他者の考えを受け入れる。【他者理解】
②問題解決のために、必要な情報を収集し、分析する。【情報分析】	②よりよい活動になるために目標を設定し、解決に向けて行動する。【計画実行】	②他者と協同して課題を解決する。【協同】
③問題状況における事実や関係を捉える。【思考判断】	③自らの在り方を考え、実践する。【自己理解】	③1年生のことを考えて関わっている。【共生】
④学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活にいかそうとする。【表現省察】	④自己の将来を意識し、夢や希望をもつ。【将来展望】	

II 鍛える (12時間, 6月~7月)	
<I後の子どもの姿> Iで気付いた自分の強みを校内のいろいろな場面で活かしてみたいと考えている。しかし、どのように活かしていいかわからない。	
<p>&lt;このような活動を通して&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 修学旅行での具材が場面を想定し、自分の強みをいかした活動を実行する。</li> <li>② 校内の諸問題について、自分の強みをいかした活動を考える。ゲストティーチャーからのアドバイスをもとに活動を見直し、実行する。</li> <li>③ 鳥屋野地域の中で自分のできることを考える。自治会長からのアドバイスをもとに、活動を見直し、実行する。</li> </ol>	<p>【活動のフィールド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行での行動</li> <li>・校内の諸問題</li> <li>・鳥屋野地域</li> </ul> <p>【かわる対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラポールのない友達(修学旅行班のメンバー、地域の友達)</li> <li>・自治会長</li> <li>・地域教育コーディネーター</li> </ul>
<目指す子どもの姿> 自分の強みがいろいろな場面で使えることに気付く子ども <IIの終末において生じる子どものつぶやき・発言> 「自分の強みをいろいろな場面で活かせるようになってきた。」「自分の弱さも何とかしたい。」	

学習方法	自分自身	他者・社会
①問題状況の中から課題を発見し、設定する。【課題設定】	①自らの行為について意思決定する。【意思決定】	①異なる意見や他者の考えを認め、受け入れる。【他者理解】
②問題解決のために、必要な情報を収集し、分析する。【情報分析】	②自分の強みをいかして、課題の解決に向けて行動する。【計画実行】	②他者と協同して課題を解決する。【協同】
③課題の解決を目指して対象を比較したり、関連付けたりして考える。【思考判断】	③いろいろな場面で、自分の強みをいかした行動を考え、実践する。【自己理解】	③いろいろな場面で人との関わりを考えながら、自分の強みをいかした活動を行う。【共生】
④学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活にいかそうとする。【表現省察】	④自らの成長を振り返り、これからの自分を見つめ、自己を高めようとする。【将来展望】	④周囲の解決に向けて、地域の活動に参加しようとしている。【社会参画】

III 再構築する (18時間, 9月~11月)	
<II後の子どもの姿> 自分の弱さを何とかしたい。	
<p>&lt;このような活動を通して&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分にとって身近な大人(両親、なかよし班・委員会担当の先生、地域の人々)に自分の強みについて聞く。集めた情報をもとに「周りから見た自分の強みランキング」を作成する。</li> <li>② 自分自身で作成した自分の強みランキングと周りから見たランキングを比較する。</li> <li>③ 自分の弱さを自分の強みでどのように補っていくか考える。</li> <li>④ 校内を含めた自分の生活する場で生じる問題を解決するために、再構築した自分の強みをいかした行動を考え、実践する。</li> </ol>	<p>【活動のフィールド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内を含めた地域の問題</li> </ul> <p>【かわる対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって身近な大人</li> </ul>
<目指す子どもの姿> 自分の弱さを補えるものが強みであることに気づき、自信をもって自分の強みを言える子ども <IIIの終末において生じる子どものつぶやき・発言> 「自分の強みはAだと思っていたけど、Bは自分の弱いところもカバーしてくれる。ほくの強みはBだ。」「これからもっといろいろな場面でいかしていけるはずだ。でも、中学校に行っても自信をもっていけるか。」	

学習方法	自分自身	他者・社会
①問題状況の中から課題を発見し、設定する。【課題設定】	①自らの行為について意思決定する。【意思決定】	①異なる意見や他者の考えを認め、受け入れる。【他者理解】
②自分の強みを見直すため、身近な大人から自分の評価を収集し分析する。【情報分析】	②校内を含めた地域の問題や自分の問題の解決するために、自分の強みをいかした行動を行う。【計画実行】	②互いの特徴をいかし、他者と協同して課題を解決する。【協同】
③多様な情報の中にある特徴を見付ける。【思考判断】	③今までの自らの在り方を見直し、よりよい在り方を考えて実践する。【自己理解】	③いろいろな場面で人との関わりを考えながら、自分の強みをいかした活動を行う。【共生】
④学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活にいかそうとする。【表現省察】	④自己の成長を振り返り、さらに自己を高めようとする。【将来展望】	④課題の解決に向けて、地域の活動に参加しようとしている。【社会参画】

IV 高める (20時間, 12月~3月)	
<III後の子どもの姿> 中学校に進学する時期が近づき、漠然とした不安を感じている。	
<p>&lt;このような活動を通して&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分たち6年生が鳥屋野小学校や在校生(主になかよし班メンバー)に引き継いでいくべきことは何かについて話し合う。</li> <li>② 話し合ったことをもとに、クラスみんなで行うことと個人で行うことに分けて計画書を作成し、実践する。</li> <li>③ 今まで蓄積してきたワークシートや振り返りをもとに自己の成長を振り返り、中学校進学に向けての決意を文章にまとめる。</li> <li>④ 卒業発表会で、今まで自分を支えてくれた仲間や両親、先生たちや地域の人たちに、自分の決意を伝える。</li> </ol>	<p>【活動のフィールド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋野小学校への奉仕活動</li> <li>・卒業発表会</li> </ul> <p>【かわる対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラポールのある友達</li> <li>・なかよし班のメンバー</li> <li>・自分にとって身近な大人</li> </ul>
<目指す子どもの姿> 自分を育ててくれた小学校に対し、自分の強みをいかして何ができるか考え実行する子ども 未来への思いを仲間や支えてくれた親や身近な大人たちに伝えることのできる子ども <IVの終末において生じる子どものつぶやき・発言> 「中学生になって、問題やトラブルが起きても、この強みがあるから大丈夫だ」	

学習方法	自分自身	他者・社会
①問題状況の中から課題を発見し、設定する。【課題設定】	①責任をもって、在校生に引き継ぐべき行動を意思決定する。【意思決定】	①異なる意見や他者の考えを認め、受け入れている。【他者理解】
②自分の強みをいかす奉仕活動をするために、必要な情報を収集する。【情報分析】	②奉仕活動の意義を明確にし、在校生に引き継ぐべきことをもとに計画的に行動する。【計画実行】	②互いの特徴をいかし、他者と協同して課題を解決している。【協同】
③問題状況における事実や関係を把握し、理解する。【思考判断】	③自らの在り方を見直し、自分の未来のことを考えて実践する。【自己理解】	③身の回りの生活環境とのかかわりを考えて行動する。【共生】
④自分の成長やこれらの自らの在り方について、分かりやすくまとめ、表現する。【表現省察】	④自己の成長を振り返り、未来に向かってさらに自己を高めようとする。【将来展望】	④課題の解決に向けて、校内の活動に参加する。【社会参画】

卒業時の子どもの姿(単元のねらい)  
未来の自分を楽しみに感じ、これから新しい社会や集団に属しても自分の強みをいかした生き方を考えていく子ども